

# 大阪府立茨木高等学校 学校運営協議会 令和6年度委員等

## 委員

添田 晴雄（会長）  
岩井 八郎（副会長）  
柴田 仁  
中村 卓  
樋本 佳子  
國末 奈緒

## 校長及び事務局員

高江洲 良昌（校長）  
朝倉 淳（教頭）  
藤山 恵里（事務長）  
森 登紀子（首席）  
森 佳希（首席）  
林 幸広（教務主任）  
山本 尚（進路指導主事）  
市田 友宏（生徒指導主事）

## 令和6年度 第1回学校運営協議会議事録

日時：令和6年6月8日（土）14:00～16:00

場所：大阪府立茨木高等学校 校長室

出席者：【 委 員 】添田晴雄、岩井八郎、柴田仁、中村卓、樋本佳子、國末奈緒

【校長・事務局】高江洲良昌、朝倉淳、藤山恵里、森登紀子、森佳希  
山本尚、市田友宏

0. 会長挨拶
1. 校長挨拶
2. 委員紹介・事務局職員紹介
3. 議事
  - ① 令和6年度学校経営計画及び評価について
  - ② 令和7年度教科書選定について
  - ③ その他

<校長挨拶>

<事務局からの「議事」に係る説明>

①令和6年度学校経営計画及び評価について

○茨木高校の取組み

\*校長及び事務局より、今年度の重点目標、具体的な取組み計画・内容等について「学校経営計画」に沿って説明。

委員：単に高校卒業後だけでなく、大学を卒業したその先、もっと言えば自分の一生を見越して進路を考えてももらいたい。

委員：学問発見講座は、生徒にとって社会の接続となる大変良い機会。主に卒業生が講師を務めると思うが、その辺りに強い茨高愛を感じる。また、それぞれの講座の進行等を担当される茨木高校の先生方にとっても良い刺激となる取組みだと考える。非常に有機的で、人と人とのつながりを深めていく。

委員：上級生が下級生のモデルになるというのは、茨木高校の良き伝統であり、茨高らしさと言える。1年生の当初に行われるスプリングセミナーの司会や挨拶を生徒が務めることにより、GLHSに相応しい生徒を育てている。また、学問発見講座は、10年・20年・

30年後の自分の姿と重ね合わせて見る機会でもある。更には、そこを見越した授業の展開も意識してもらいたい。

委員：国際的な取組みも非常によい。特別に意識していることはあるか。

事務局：授業では触れられない実践的な取組みを行うことで、興味をもつきっかけ作りや英語を使う動機づけになっていると思う。授業でも英語でのディベートを取り入れるなど、活用する機会を設けている。

委員：共通テストも変わり、特に英語教育は小学校、中学校の取組みも変わってきている。

事務局：中学校と積極的に連携し、学び合う機会を作りたい。また、先進的な取組みを行っている学校を積極的に視察し、本校の取組みを改善していく一助としたい。

#### ○社会の変化と子どもの変化

委員：社会の変化は激しい。その適応することも大切だが、惑わされないこともまた大切である。

委員：枠から外れるような子どもも大事にしてもらいたい。他人に干渉したくないし、されたくないと言う子もいる。他人と違うことに存在意義を感じる子もいる。中学校までの自尊感情や茨木高校の仕掛けにより、高い山に登るという目標をもつ子もいるが、みんながみんなそのような目標を持つわけではない。自尊感情をもてず、外れていく子どものケアをどのようにしていくかも考えてもらいたい。また、デートDVのような、学力や学歴に関わらず、どこでも同様に起こる問題もある。茨高生だからと安心するのではなく、子どもたちの身近にある問題にぜひ目を向けてもらいたい。

事務局：コロナ禍を経た社会の変化と、それに伴う生徒・保護者の変化は痛切に感じている。

それらに対応するため、いわゆる教員の質を向上させることも重要であると考える。

#### ○教職員の働き方改革について

委員：徹底的に事務効率を上げることは必要。そのうえで、時間をできるだけ関心のあることに割けるよう配分を考える。すべてはできないということを全体で認識する必要がある。

委員：業務量を平準化する必要がある。延べ仕事量とバランスを考え、1つの仕事でも節目節目で担当する教員を代えるなど、分担していくことが重要。1人で行わず、次に渡していく。

委員：「この日は残業せずに帰る！」という、メリハリをもつことが大切。

委員：茨木高校の生徒は、将来管理職になる生徒も多いと思われる。民間企業では、従業員の働き方、生活を考えると言うのは最も重要なになっている。働き方改革ではなく、生活改革、生き方改革という意識で取り組んでいる。

委員：生徒はもちろんだが、保護者にも教職員の働き方改革について周知し、理解してもらうことが重要。保護者は民間企業に勤めておられる方も多いと思うので、案外理解が早いのではないか。

委員：自身も体育会系の部活動に所属していたが、必ずしも毎日練習する必要はない。やはりメリハリが大切。

#### ○次年度学校運営協議会の日程

第2回 令和6年10月5日

第3回 令和7年2月15日